



version d'évaluation

このファイルは P.P.Content Corp. 社刊行書籍のトライアル版です。このファイルは、読者が当社刊行図書の購読を検討する場合に限ってのみ利用できます。一般に広く無料で公開されているわけではありません。このファイルおよびこのファイルに入力されている電子データの著作権は著者ならびに当社に帰属します。あなたがこのファイルを第三者に提供すること、公開すること、頒布することは禁じられています。

vernissage volume 2

J'écris mon nom.

#VV02TRIALPDF
copyright (c) P.P.Content Corp.

Librairie P.P.Content Corp.


vernissage volume 2 / J'écris mon nom.




vernissage volume 2
J'écris mon nom.

texte : Callas Cenquei
montage : P.P.Content Corp.

vernissage volume 2 / J'écris mon nom.




それともあなたは信じになるでしょうか。わたしの名前が女性の名前を、わたしのそれとは性を異にする女の^{ひと}名を、ただちに指し示す以外のなにもでもないのだということ、そうと指摘されるまで、わたしにはいささかも気づかれることはなかったのです。



ひるがえってたなびく雲のおおいが
ゆるやかにほどかれわたしはさむいというのだろうか。ゆたかな
午後の日差しがわたしの乳房にくれそめて、やまつぐみの声
かしら、わたしは言い、そう言いさしてにこしたことはの白さを、
男はあらためて聴いてみることをしなかったのだろうか。
その結び目に唇をかさね、ただあわただしく唇をかさねるだけで、
その結び目のしろさをあらためてひもといてみることを男はし
ようとほしなかったのだろうか。ながれてゆく潮、ながれ

てゆく潮のかたむき、ながれてゆく息の満ち干、ながれてゆく
鳥どもの騒々しい声、はまひるがおの堅い蕾にういしくむすびは
じめる滴をすするところから、ささやかな悲しみのきざしをおび
てみだれはじめるわたしの息が、男の耳に、男の耳のそばだて
られた海のしじまに、あたかもくりかえされては忘れ去られて
ゆく波のひびきのひとつであるかのように緩やかに差し、男の
耳朶を、その耳のしじまをかすかに明るませていたのを男はか
たくなに肯んじようとはしなかったのだろうか。枯れ葉のように。
あたかも枯れ葉のように。かりにわたしが男を愛したのはほん
とうだとしても、かりに男がわたしを愛したのはほんとうだ
としても、あらかじめ朽ち果てたひとつの廃墟として男はわ
たしを愛したのだということほんとうかもしれない。

その名をわたしは書くでしょう。そこにわたしはわたしの名前を書くでしょう。ゆるやかにひもとかれ、たちあらわれる廃墟をわたしはそこに見るでしょう。あたかも過度の借入によって失地の危機に見舞われた国民政府が、自国の民族の高揚と発威をうながす唯一の手立てでもあるかのよう
に、わたしはわたしの名前を書くでしょう。しかしながら、その名であり、
けっしてその名のもとには同化しえぬわたしの名、そこにおいて書きつら
ねられ、その名のもとにひもとかれてゆく言葉のことごとくは、たちどこ
ろに廃墟と化してゆくさまをわたしはそこに見るでしょう。あるいはこう
申してよいのかもしれませんが。わたしの名前は、わたしにとって、絢爛た
る王国の一領土であるというよりは、むしろ、よそよそしい一箇の亡命地
であり、永遠に帰属しえぬ土地として、その地における権限と利得の一切
からへだてられているのだと。



日覆いをつたっておちる木洩れ陽
が男のからだをぬらしていたのを、わたしはそこに見たの
うか。失速する風と凧の海洋が男の心臓によこたわっているの
をわたしはそこに見いだすのだろうか。男の息のややもすれば
流れのはやい潮のみぎわに、男の肩のややもすれば丸みのあさ
い潮のみぎわに、午後の日差しがおだやかな木々のあいだを洩
れて翳を落とし、わたしの乳房を、わたしの乳房の透明な暈を、
ほのかに色づかせて立たせてゆくのをそれとも男は知らない
というのだろうか。わたしのからだをみずみずしく潤し、透明な

光のしずくでわたしのからだをぬらしてゆくのを、それとも男
は知らないというのだろうか。男のからだはみじろぎもしない。
堅くなり、黒さをまし、男のからだはみじろぎひとつさえしな
い。黒くなり、堅さをまし、それは夏の明け方のブナ林のよう
な匂いをたてている。それは明け方のブナに眠る甲虫のよ
うなおいがする。黒くなり、堅さをまし、男のからだはみじ
ろぎもしない。堅くなり、黒さをまして、男のからだは身動き
のひとつさえしない。男は、寝息をたててゆるやかに落ちてゆ
くひとつの崩壊を眠らせようとしているのだろうか。息せいて
それをうながしにやってくるテロルの群れを、それとも男は急
がせようとしているのだろうか。男のからだはみじろぎもしな
い。男のからだはみじろぎもしない。堅くなり、黒さをまして

トライアル版でご覧いただけるのはここまでです。

続きをご覧いただくには、ご購入のお申し込みが必要です。ご購入のお申し込みは、P.P.Content Corp. 社所定のフォームにて必要事項を明記のうえ、ご送信ください。なお、お申し込みにあたっては、購読規約をよくご確認ください。

<http://www.cenquei.com> Librairie P.P.Content Corp.

書名 vernissage volume 2 / J'écris mon nom..

著者 千慶烏子

編集・発行 P.P.Content Corp.

版型 PDF (A4 版変型フラット) 42 ページ 図版多数